



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題
アジア会長主題
東日本区理事主題
あずさ部部長主題
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」
“Action” 「アクション」
「為せば、成る」 No challenge No fruits
「未来はそれに備える人のものである」
「入りたいな」と思われる楽しい会に

2019年6月号
NO 513

主は憐み深く、恵みに富み、忍耐強く、慈しみは大きい。

詩編103編8節

1年を振り返って

本川悦子

魅力あるクラブづくりができているかな、と常に自問してきました。答えは未だに見えません。ただ、クラブ内の親睦はより深まったかなと、思います。苦しくも、楽しい1年間でした。

1月の例会に茶道指導者でもある東京多摩みなみクラブの深尾香子さんを講師に迎えて、茶道について学びました。

“茶道”と言えばお点前がつきもの、そこは人生経験豊かな東京西クラブの女性メンバー、昔とった杵柄!! を発揮して、お点前の腕を披露しました。ゲスト、ビジターの皆様に喜んでいただきました。

7月に、日本の「おもてなし文化」を体験するために、香港のYMCA から青少年たちが来日します。10余人の学生たちは、深尾さんの指導で「おもてなし」を学ぶために、「茶の湯」を体験し

ます。会場が地元の荻窪・太田黒庭園ということもあって、私たちクラブのシャカシャカレディースがお手伝いをします。

十数年の間、東京西クラブという、きれいな箱に入っていた私、会長を仰せつかった時には“どうしよう”と思いました。

が、幸いクラブのメンバーは、私の足を引っ張らずに、ワイズの世界へと手を引いてくれました。おかげで深尾さんはじめ、大勢のワイズメンと交流を持つことができた1年でした。私にとってとても大切な財産ができました。

この度の、東京YMCA 国際部のお手伝いをすることで、YMCAとの距離が、より近くなるという、と思います。

私たちのクラブは、経験という知恵を生かして、ますます発展して行きたいと思います。



WHOウォーキングのご案内

文豪徳富蘆花が40歳から「美的百姓」として住んだ千歳村粕谷の居宅(写真)などが蘆花恒春園として武蔵野の面影を遺しています。都立祖師谷公園と合わせて暑さを避けて歩きます。

期 日：6月22日(土)

コース：京王線千歳烏山駅<バス>-祖師谷公園-安穏寺-蘆花恒春園-世田谷文学館-芦花公園駅

集 合：京王線千歳烏山駅南口

改札 9:45

解 散：同・芦花公園駅 14:30

携行品：弁当、飲料、敷物、名札

参加費：300円。名札代200円

クラブ役員

会 長 本川 悦子
副 会 長 高嶋美知子
書 記 石井 元子
会 計 河原崎和美
担当主事 木川 拓

5月の記録				ニコニコ	6,800円
在籍者数	15人	メネット	0人	クラブファンド	447円
(内功労会員)	1人				
出席者数	10人	コメント	0人	ファンド残高	156,447円
メーキャップ	1人	ビジター	4人	ホテ校ファンド	6,220円
出席率	79%	ゲスト	2人	ホテ校残高	95,979円
前月修正	-	出席者合計	16人	WHO参加者	30人

6月例会・年次総会案内

今月の強調テーマ：評価

今月はこの1年を振り返り、活動を評価し、新年度に思いをはせるクラブ総会が開かれます。同時に新年度の会長をはじめとする役員就任式も行われます。

また、東京YMCA国際ホテル専門学校の4人の私費留学生の奨学金の授与式も行われます。それぞれからスピーチもあります。皆さんでお祝いをいたしましょう

日時：6月20日(木) 18:45~21:00

会場：「ウエルファーム杉並」4F集会室
(杉並区天沼3-19-16 03-535-7330)

会費：1,500円(ゲスト・ビジター)

担当：C班(山田、大野、篠原、村野、小山)

HAPPY BIRTHDAY

当クラブ該当なし

受付 篠原 文恵
司会 大野 貞次

開会点鐘
ワイズソング(いざ立て)
聖書朗読・感謝
私費留学生奨学金贈呈式
留学生紹介 ホテル専門学校校長・小畑貴裕さん
スピーチ

本川 会長
一 同
神谷 幸男
会 長
留 学 生

会食

クラブ定期総会
役員交代式
ハッピーバースデー
諸報告(地域奉仕、会員増強、国際・交流、ユース)

議長 本川会長
司式 吉田明弘
会 長
会 長 他
担当主事・木川 拓
一 同
本川 会長

—5月第2例会(事務会)—

日時：5月23日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田

<報告事項>

- ①5月のデータを確認した。
- ②5月の月次会計報告を承認した。
- ③山田利三郎さんから、身体上の理由で退会届が提出された。
- ④あずさ部会で、本川悦子さんの次期ユース事業主査決定が承認された。

<協議事項・例会関係>

- ①6月例会の内容は、留学生への奨学金贈呈式、クラブ役員就任式、クラブ年次総会とし、細部は例会当番に任せる。就任式司会は、吉田明弘さんが担当する。総会資料は、本川会長を中心に作成する。
- ②7月例会は、新年度例会担当が務める。
- ③2019年度例会当番表を下記の通りとする。

A班：大野、本川、村野、神崎

(7、10、1、4月)

B班：吉田、高嶋、鳥越

(8、11、2、5月)

C班：神谷、石井、河原崎、木川

(9、12、3、6月)

- ④例会弁当の受け渡しは、前月の例会当番が担当する。

<協議事項・例会以外>

- ①東京YMCAホテル専門学校の留学生支援について、学校側から、今年度は4人の支援依頼があり、総額は変更せず、奨学金を4人に贈る。
- ②山田利三郎さんの退会届について話し合った結果、退会は熟慮の上での決断と理解し、尊重する方向で本川会長が面談する。
- ③YMCA恒例の芸術祭は、6月24日~29日、東陽町センターで行われる。当クラブの受付担当は、6月26日(水)10:00~12:30で、神谷幸男さん、大野貞次さんが勤める。
(書記・石井元子)

7月以降の新たな行事

▲7月19~21日

アジア太平洋地域大会

▲10月12日(土)東新部大会

▲10月19日(土)あずさ部会

香港YMCAからお客様

「おもてなし学習」お茶会

「O・MO・TE・NA・SHI」、これは日本のおもてなしがなぜ世界から注目されているのかを見つけるために来日される香港YMCAメンバー(青少年15~18歳)を迎え、「日本のおもてなし文化」を紹介するプログラムです。

主 催 東京YMCA国際部
提 案 者 深尾香子さん
実施日時 7月24日(水)
実施会場 太田黒公園茶室
定 員 受入側含む20人程度
受付形態 東京西クラブ+有志
企画目的

1. 西洋と日本のおもてなしの相違を見つけること。
2. 互いに認め合いホスピタリティの本質を共有すること。
3. 個々人の将来において、自分で「おもてなし」を実践する際のヒントの一つになること。

◎問い合わせは本川悦子会長へ



5月例会：気を入れてみんなすつきり



WHO 5月：住宅地からも多摩川が望める

気功がめざすものとは

－ 5月例会報告－

新たな元号、令和の時代を迎えて初めての例会。5月はゲスト1人、ビジター5人をお迎えして16日に開催されました。

今回の卓話者は日下部美幸さん（厚木クラブ次期会長）。名古屋のご出身で幼少期から29歳までモダンバレエやクラシックバレエにどっぷり。その後、厚生労働省の健康運動指導士として従事され、平成10年には神奈川ゆめ国体の開会式、閉会式にてマスマゲームの指導兼責任者として2,000人のメンバーを束ねるご経験など、初対面から実にアクティブな印象を受けました。

今回のテーマは「気功」。練功18法と導引養生功の指導者としての資格をわずか2日間の受講で取得したものの、その魅力に気づくまで10年以上の歳月がかかったとの本人談。その魅力を感じ始めたのは導引養生功日本総本部創設者である張廣徳老師の長男・張玉松老師との出会いがあり、誠心誠意練習すると後光が見えるようになるという言葉は特に印象的でした。

日本においては比較的高齢者が行うものと捉えがちである気功も、中国やアメリカなどでは若者たちも数多く取り組んでいます。特に中国では中国体育局の取組み、いわゆる国策として毎月広場にて健康づくり政策の一環としており、気軽に始められる環境

が整備されています。歴史ある古典気功を今の時代に則した健身気功として整理し、その様子を政府から海外へ発信することで、文化を通じたネットワーク作りにも力を入れています。

健康でいるためには、意識の方向に動かす主動筋と逆方向に動かす拮抗筋の双方を使うことが大切であるということ、転ばないためには足の裏の筋力を鍛えることなど、動きの意味を実際にレクチャーいただきながら、会の後半には身体を使って体験。肩甲骨の動きや血液の流れを感じながら、全身が温まるのを実際に感じ、貴重な卓話で心はもちろん、身もスッキリ！

健康の秘訣は心の安定が最も大切であり、その上では筋力を使いつつも、しっかり緩ませること。快眠は、身体が疲れていないと無理であり、薬は最後の手段であることなど、笑顔で健康的にお伝えいただく姿には大変説得力があり、有意義な卓話となりました。

例会出席者（敬称略）：＜メンバー＞石井、大野、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、木川、＜ビジター＞日下部美幸（卓話者）・佐藤節子（東京厚木）、村野繁（東京世田谷）、田上正・かつみ夫妻（熊本むさし）、＜ゲスト＞宮崎加奈子、＜メイキャップ＞神崎（区大会）

（木川 拓）

田園調布の本当の魅力

WHO 5月例会報告

5月25日は、真夏日、参加者は30人。最初にコースの短縮を宣言しました。田園調布は、かの渋沢栄一の「田園都市構想で開発された都心で働く知識層を対象とした街です。放射状の並木道を北へ。豪壮な家並みです。

宝来公園は、多摩川が生んだ河岸段丘。カブトムシやクワガタが捕れそうな樹木が繁ります。続いて多摩川台公園。東西に延びる丘。南は国分寺崖線、足下に雄大な多摩川（写真）が蛇行し、遠くに富士山、箱根、丹沢の山並みが望めます。もうひとつの見どころは、4、5世紀に築かれた10基の古墳群。多摩川の水と肥沃な地、南向きの丘、古代においても快適な住宅地だったのでしょう。古墳展示室があり、出土品や模型、解説でタイムスリップ。ここは、子どもも自由に入場できます。園内には自由広場、水生植物園、薬草園もあり、変化に富む地形、住宅地に隣接してこんな遊び場がある田園調布の子どもたちは恵まれてます。

北条政子ゆかりの浅間神社に登った後、かつて賑わった多摩川園の跡地、せせらぎ公園の緑陰を散策し、予定より1時間半早く、多摩川駅で解散しました。ワイズ関係の参加は、石井、吉田（東京西）、中澤、藤江（東京たんぼぼ）、樋口（東京グリーン）でした。

（吉田明弘）

2018-2019年度 第3回あずさ部善光寺評議会

まだ馴染めない令和元年がスタートして間もない5月11日(土)、長野駅から徒歩20分にある勤労者女性会館しなのきにて開かれ、議決権者を含め71人の出席者があった。

開会式に続き、会議は1号議案CS事業助成金配分の件、申請のあった松本クラブ(アジア賞)、富士五湖クラブ(障害者フライングディスク大会)、甲府21クラブ(ベビーカーコンサート)、長野クラブ、脊髄損傷者協会と共催(スポーツ吹き矢大会)の4クラブの事業に総額19万円渡された。

2号議案では2019-2020年度あずさ部役員・クラブ会長が承認された。次期部長松本クラブの赤羽美恵子さんより部長方針「あなたの入会時のときめきと多くの経験をワイズのために！」が発表され、また重点活動・行事予定・予算案が出され承認された。次々期部長には御園生好子さん(東京サンライズ)が選ばれた。

報告に移り、廣瀬部長・各事業主査・7クラブ会長より活動報告がなされた。閉会式、写真撮影の後15時前に終了した。その後、善光寺玄証院住職でもある福島貴和さんの案内で、善光寺コースと街歩きコースに分かれ長野クラブの例会場レストラン「やま」に集合し食事会を持った後、解散した。

善光寺本尊の阿弥陀如来はインド、百済を経て日本に渡来した日本最古の仏像で、本田義光が信濃に安置したと善光寺縁起にある。伽藍は645年に創建された。

「牛にひかれて善光寺まいり」の逸話は有名。2016年の東日本区大会ではじめての称名(しょうみょう)に感動し、素晴らしい心に響く男性合唱の余韻を引きずっての参加であったが、福島ワイズのご案内で、素晴らしい善光寺まいりとなった。当クラブは大野・本

川・石井・河原崎・篠原・村野の6人参加。(村野絢子)

奨学生の皆さんの 自己紹介

◇オリ ハリバクタ
(OLI HARIBHAKTA)

国籍：ネパール
シャングリ・ラホテル東京内定
母国の高等教育でホテル業界を学び日本のホスピタリティに興味を持ち来日。趣味は映画鑑賞。(男女問わずクラスの人気者)



◇タイ ケイセイ
(DAI HUIQING)

国籍：中国
ANA インターコンチネンタルホテル東京内定
横浜 YMCA 日本語学校卒業。母国でビジネスを学ぶも、日本在住の叔母の勧めで来日。リゾート実習にも参加。日本のドラマが好き。



◇ライ スリジャナ
(RAI SRIJANA) 国籍：ネパール
パークハイアット東京内定

東京 YMCA にほんご学院卒業。地元はカトマンズから車で12時間の観光地。将来はそこでホテル経営が夢。アニメ・映画好き。



◇リ テイ (LI TING)
国籍：中国 パークハイアット東京内定

高校卒業後、中国の日本料理店で勤務経験有り。東京ヒルトンにて実習を経験。食べることや遊ぶのが好き。



YMCA Today

■大型連休も終了し、ホテル学校も本格的に始動。1年生はベッドメイクやレストランサービスの基本を習得すべく、本物のホテルで授業がスタート。夏には希望者がリゾートホテルで実習を行います。今年なんと100人。北米研修にも10人が臨みます。

■7月1日から世田谷区の希望ヶ丘団地の一角で運営する「YMCA 保育園ねがい」(認可保育園)の開設準備室が設けられ、保育士が東京 YMCA の他保育園で研修をするなど、開設に向けた準備が進んでいます。6月29日午前に「開所式」を行い、同日午後には「内覧会」も予定しています。

■東京 YMCA の元主事で、1970年に米国に派遣され「東京ニューヨーク YMCA パートナーシップ」(1999年から「東京フロストバレーYMCA パートナーシップ」に移行)の創設に多大な貢献をした本間立夫氏の著書『当たって砕けよ！一日米のYMCAに懸けた半世紀』第2版が発行されました。(販売：YMサービス株式会社)。尚、2019年はフロストバレーYMCAとのパートナーシップ40周年にあたり、10月19日に東陽町センターで「40周年記念リユニオンパーティー」を、11月1日～3日にはフロストバレーYMCA キャンプ場(米国)で「40周年記念ウィークエンドキャンプ」を予定しています。

(担当主事 木川 拓)

東京 YMCA の HP
で、WHOの毎月の
予告と報告を写真
入りで見ることが出
来ます。



<http://tokyo.ymca.or.jp/community/2019/05/20190529.html>

☆☆☆ インタビュー ☆69☆ 石川 泰仁さんに聴く

富士宮クラブ

* * *



石川泰仁さん(富士宮)は平成に1回、令和に1回、クラブ会長を務めることとなります。

(吉田明弘)

—私は、『プロ野球選手名鑑』などをめくるのが好きですが、ワイズの名簿を見ていて面白い発見をしました。石川さんの職業が『薪炭業』、社名が『スミヤ』と普通名詞ですね。

「家業は、祖父が1918(大正8)年に始めた燃料業です。今は兄が社長、その長男が4代目になります。スミヤという屋号は、かつて燃料屋は、夏場にアイスキャンデー屋さんになる人が多く、その時に付けたもので60数年になります。現在はプロパンや住宅設備、電気工事、上下水道を含めた複合型のエネルギー産業です。薪は今、扱いをやめ、炭は岩手、福島、高知産、それに静岡でも少し焼いているので仕入れています。燃料革命のため一般家庭の炊事や暖房用の需要はほとんどありません。静岡県の業界組合は解散しました。私の兄が最後の組合長でした。

—特殊用途があるのですね。

「家の床下に置いて除湿や、水の浄化に使われています。かつてとは逆で、地方よりも都会に需要が多くウナギ屋さんや焼き鳥屋さんが多い東京が最大消費地です。富士宮では特産の紅マスを焼くのに使います」

—富士山では。

「富士山の山小屋は、今でも炭

が使われています。表富士宮口の山小屋は、ほとんど私のところで納めさせていただいていますが、小屋の湿気とりにもよいようです。金剛杖の焼印にも使います」—そうすると、年に何回かは、富士山に登りますか。

「毎年20回くらいですね。かつては、強力とか荷背負(にしよい)と言われる人が物資を担ぎ上げていたのですが、今は、5合目からブルドーザーで上げます」—富士宮クラブでも、富士山に関わる方が多いのですか。

「メンバーの宮崎善旦さんは、山頂の2館の山小屋の館主です。毎年ゴールデンウィークの3日間、本宮浅間大社の流鏝馬祭りが行われます。これは、源頼朝が奉納して820年の歴史がありますが、この祭りが終わると大社関係者を含めた富士山関係者から、その年の富士山の話が始まります。流鏝馬の保存会の20人の会員に、宮崎さん、佐野佳治さん、土橋務さん、私が入っています」—みなさん、馬に乗って矢を射るのですか。

「今は射手は若手に任せ、それぞれ諸役をこなしています」—ところで、石川さんは、どんな子どもだったのですか。

「富士宮で生まれ育って、普通の子だったと思います。高校までのんびり過ごしましたが、大学受験に失敗して、航空自衛隊に入りました。3年務めて、東京の大学に入りました」—少し年上の大学生ですね。

「大学時代は忙しく働きました。いろいろありましたが、当時、新宿大久保には日雇い労働者が大勢いて有名でした。そこで毎朝、人を集めて作業現場に送るバイトや、運転手、パン屋さん、人形作りもしました。いまでも、あのあたりでカオがききますよ。卒業後は富士宮に戻り、父親の経営する家業につきました」

—ワイズメンやYMCAとの接点

はあったのですか。

「私はありませんでしたが、父は1935年に開校した東京YMCAホテル学校の2期生だったそうです。卒業後、横浜のホテルニューグランドで働き、召集で軍人になりました。神道の町で育ちながら、なぜYMCAだったのか不思議です。晩年までホテル関係の人脈がありました。私は、富士宮クラブ設立の時、宮崎さんから、『人生に楽しい1日を毎月1回、増やさないかい』と誘われました。富士宮クラブのメンバーは、元々地域の青年活動、区の役割、青年会議所や祭りなど、地域活動を行っていました」

—富士宮クラブの『富士山アートメール』は、長く続いていますね。

「毎夏、往復はがきの返信面に絵を描いて送ってもらい、宮崎さんの山頂の小屋で展示して、日本一高い富士山頂の郵便局の消印を押して、希望する宛先に送るという企画です。賞も設けず、費用も掛けずが、基本です。メンバーは、募集、展示、送付作業を行い、何度か、山に登ります。今年は企画を見直すために中止します」—富士山部は、全メンバーが熱海YMCAの会員になって、YMCAを運営していますね。

「各クラブの活動を重んじて、それをYMCAの活動としてしています。5人の理事と10数人の運営委員がいますが、現在、私も運営委員になっています」—クラブの会員増強は、いかがですか。

「1996年のチャーター時の会員が23人、現在は21人です。適当に新陳代謝があります。辞める人がいないような運営をすればいいのです。でもこれは、簡単ではありません。ワイズ全体に危機感をもっています」

—座右の銘といったものは。

「『人生はいつも楽しく!』ですかね」

—ありがとうございました。

旅で出会った人 ⑨

村野絢子

おばさん4人、友人宅訪問記・その1 シアトル

2010年7月9日～15日まで、おばさん4人はシアトル近郊レドモンドの高級住宅地にお住いの、後藤宏子さんのお招きを受けて、お宅に滞在し、夢の1週間を過ごした。きっかけは北軽井沢で宣教師ジュティン先生と東洋英和の教え子達と英和つながりのある私が出会ったことに始まる。丁度日本に戻っていた宏子さんの「来年シアトルにいらして」との一言が翌年実現した。

見事な日本庭園、広く整った台所、手作りのキルトで飾られた、2つのゲストルームのある大きなお家は、日本の教会で出会い、30年近いアメリカ生活を会社経営と高校の日本語教師として働かれ、信仰深い、後藤浩・宏子夫妻に神様が与えられたご褒美のように感じられた。

浩さんの運転で、ワイナリー、お二人の教会の礼拝、マリナーズとヤンキースの試合を堪能した後、何とバンクーバー、ビクトリアのブッチャートガーデンへもお連れ下さった。緑と花々と彫刻の調和が見事であった。

その2 アプトス

4年後の2014年6月5日から12日、今回はカリフォルニア・アプトスのお宅に招かれた。宏子さんがリタイアし、家が売れて、息子さん家族の住むサンノゼに近いアプトスに良い家を見つけて引越したので「同じメンバーでまたいらして」とのこと、大喜びで全員参加を決めた。新しいお宅は、シアトルの家と同様どこも手入れが行き届いていた。海岸の散歩、ビーチでのピクニック、息子さんが牧師をされているサンノゼの教会の礼拝出席、サンフランシスコの街歩きの後、ヨセミテ自然公園への旅に出た。ヨセミテの自然は日本と異なる味の、スケールの大きなアメリカを感じさせてくれた。好奇心旺盛、年齢(60～70歳?)は頭に無い、個性的な4人は、全てを楽しみ、お二人に感謝し、身も心も満たされた旅であった。



隠岐の島観光の記

5月14日(火)9時頃小雨降る中、隠岐諸島の1つ西の島の浦郷港に上陸。ここは後醍醐天皇が島流しにあったところで、これがこの島の観光の目玉の1つらしい。

少々年季の入った観光バスに乗って数分のところにある由良比女神社に到着。祭神は由良比女命で漁業神、海上守護神として崇められ、隠岐国の一宮とのこと。一行37人拝殿に登りご祈祷を受けた。お札とご朱印をいただいて参拝終了。

この神社の近くに「いか寄せの浜」という小さな入江があり、観光スポットの1つで「いか」が大挙してこの入江に押し寄せきて、手掴みで「いか」が獲れるという伝説があるところ。

バスに乗って観光ポイントの本命、赤尾展望台と昼食を挟んで摩天崖にて海と崖の絶景(赤尾展望台からは遥かに断崖絶壁の摩天崖を眺望し、摩天崖からは赤尾

展望台のある摩天崖よりは小規模な絶壁と丘陵を眺望)を楽しんだ。午後5時前に浦郷港を後にした。(神谷幸男)

日本一周クルーズの思い出

高嶋美知子



船から降りて、岐阜県白川郷荻町での散策

編集後記

このところのニュースで気になることが多くありました。

その1つは高齢者による交通事故です。なんと多いことでしょう。それによる犠牲者が出て、悲しみを覚えること、また何故と考えさせられます。

私も運転をしますので、気を付けてまいりたいと思います。

また子供たちが犠牲になる事件が多くありましたね。悲しく、何故と思わざるを得ません。命の大切さをさらに伝えていかなければと考えます。

さてと、またブリテンの発行が遅れてしまいました。残念、うまくいきませんでした。

寄稿していただきました皆様に感謝申し上げます。

いよいよ、うっとうしい梅雨の季節に入りますね。皆様には健康で過ごされることをお祈りしています。(O.T)